



2019年2月5日
学校法人東京女子医科大学
株式会社デンソー
株式会社日立製作所

東京女子医科大学・デンソー・日立がスマート治療室開発で 日本オープンイノベーション大賞「厚生労働大臣賞」を受賞

学校法人東京女子医科大学と株式会社デンソー、株式会社日立製作所は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)プロジェクトのもとで連携して行ったスマート治療室の研究・開発について、内閣府「第1回日本オープンイノベーション大賞 厚生労働大臣賞」を受賞しました。

日本オープンイノベーション大賞の概要

イノベーションの創出を巡る国際的な競争が激化する中で、研究開発等の成果を迅速に社会実装し、社会的ニーズの解決や新たな価値の創造につなげるには、組織の壁を超えて知識や技術、経営資源を組み合わせる新しい取組を推進するオープンイノベーションが重要視されています。我が国のオープンイノベーションを推進するため、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組を表彰する「日本オープンイノベーション大賞」が新設されました。

今回の表彰内容

- ・受賞した賞: 第1回日本オープンイノベーション大賞 厚生労働大臣賞
- ・受賞案件名: 医療のIoT化を実現するスマート治療室「SCOT®」*1の開発
- ・受賞者:
 - 村垣善浩(東京女子医科大学先端生命医科学研究所 教授)
 - 岡本淳 (東京女子医科大学先端生命医科学研究所 特任講師)
 - 正宗賢 (東京女子医科大学先端生命医科学研究所 教授)
 - 奥田英樹((株)デンソー 社会ソリューション事業推進部
メディカル事業室 室長)
 - 中西彰 ((株)日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット
外科治療ソリューション本部 本部長)

スマート治療室「SCOT®」開発の概要

従来の手術室の役割は滅菌環境の提供であり、多数の機器はスタンドアロンで運用されていましたが、治療効果向上とリスク低減を両立するため、治療空間自体が一体のシステムとなるスマート治療室「SCOT®」を AMED 支援のもと、5 大学 11 企業の連携により開発しています。これまでに機器をパッケージ化した基本版(広島大学)で手術を 30 例、開発したミドルウェア(OPeLiNK®)*2 によりネットワーク化した標準版(信州大学)で手術を 4 例施行しました。2018 年度中に高機能版(東京女子医科大学)を導入予定です。OPeLiNK®を使用することにより、各機器の出力データをミドルウェアで「標準化」し、常に同じフォーマットのデータをデバイス非依存で提供することができます。本技術開発により、世界の健康医療に貢献し、Society 5.0 を実現する相互運用性の高い医療情報基盤を構築していきます。

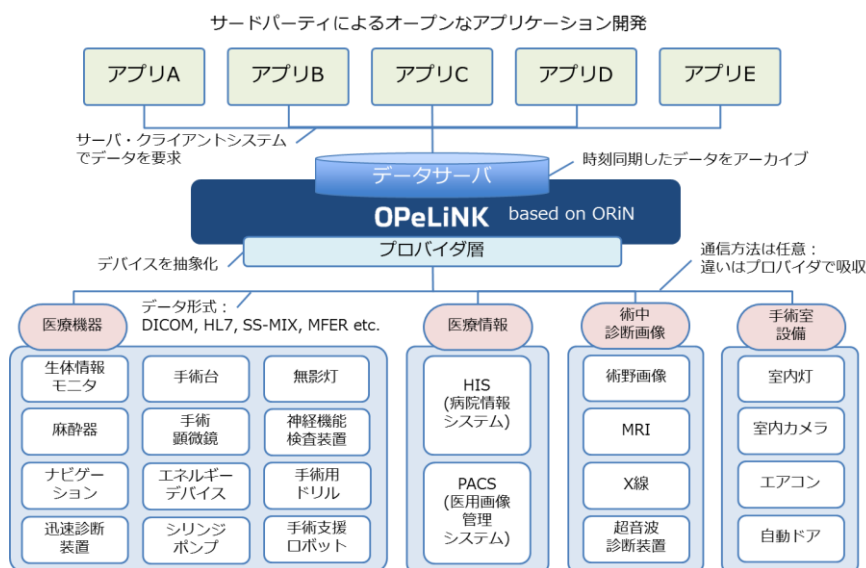
*1:SCOT は学校法人東京女子医科大学の登録商標です。

*2:OPeLiNK は株式会社デンソーの登録商標です。

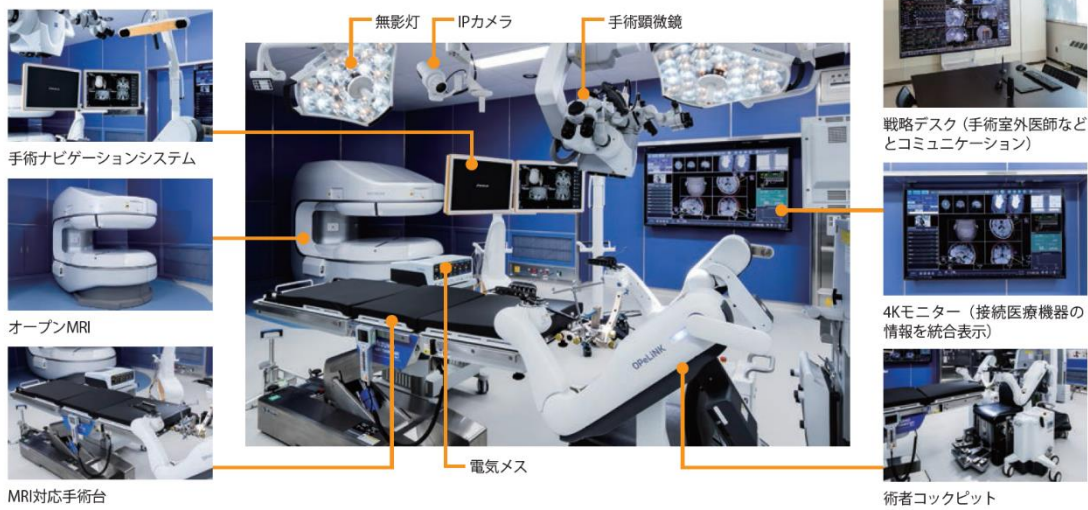
スマート治療室プロジェクト参画企業一覧

大学	東京女子医科大学、広島大学、信州大学、東北大学、鳥取大学
企業	デンソー、日立製作所、日本光電、ミズホ、パイオニア、キヤノンメディカルシステムズ、セントラルユニ、エア・ウォーター、グリーンホスピタルサプライ、エア・ウォーター防災、SOLIZE

スマート治療室 OpeLiNK®概念図



■ 信州大学のスマート治療室(スタンダードモデル)



【お問い合わせ先】

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所

担当: 関屋

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

Tel:03-5367-9945 内線 43207 Fax:03-3359-6046

E-mail: abmes-koho.aa@twmu.ac.jp

株式会社デンソー 広報・渉外部

担当: 鈴木、吉田

〒448-0029 愛知県刈谷市昭和町 1-1

Tel:0566-55-9736 Fax:0566-25-4509

株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット ブランド・コミュニケーションセンタ

担当: 八ッ星(やつぼし)

〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号 上野イーストタワー

Tel:03-6284-3720(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
